



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日
上場取引所 東

上場会社名 大王製紙株式会社
コード番号 3880 URL <https://www.daio-paper.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長 社長執行役員(氏名) 若林 頼房
問合せ先責任者(役職名) 経理部長(氏名) 張能 太子 (TEL) 03 - 6856 - 7513
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	162,013	10.0	2,779	853.5	2,666	93.1	3,308	143.0
2023年3月期第1四半期	147,309	1.6	291	△97.3	1,381	△86.8	1,361	△79.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 6,144百万円(△46.4%) 2023年3月期第1四半期 11,456百万円(42.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	19.90	—
2023年3月期第1四半期	8.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	925,072	248,869	25.8
2023年3月期	923,531	244,670	25.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 239,028百万円 2023年3月期 235,121百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	7.00	—	9.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	330,000	6.9	5,000	—	1,500	—	1,000	—	6.02
通期	700,000	8.3	18,000	—	9,000	—	4,000	—	24.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 新規 一社（社名） 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	169,012,926株	2023年3月期	169,012,926株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	2,764,872株	2023年3月期	2,817,471株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	166,218,594株	2023年3月期1Q	165,934,257株

当社は、株式交付信託を用いた株式報酬制度及び従業員持株会信託を用いた従業員持株会信託型ESOPを導入しており、当該信託が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 四半期決算補足説明資料は、下記当社ウェブサイトに掲載を予定しています。
https://www.daio-paper.co.jp/ir/ir_news/

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が緩和されたことや感染症法上の位置づけが5類感染症に変更されたことで経済活動が正常化に向かう一方、ウクライナ情勢の長期化、資源価格や原材料価格の高騰、円安による物価の上昇等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおいては、当連結会計年度は2021年度から2023年度までの3カ年計画である第4次中期事業計画「GEAR UP 次なる成長、新たな未来へ」（2021年5月発表）の最終年度となります。

厳しい経営環境を乗り越えるために、紙・板紙事業、ホーム&パーソナルケア事業のほぼ全ての製品における販売価格の維持や、主要工場でのエネルギー構成や生産体制の見直し、省力化を含む聖域なきコストダウンを着実に進めてまいります。そして、紙・板紙事業からホーム&パーソナルケア事業への構造転換による「強靱な事業ポートフォリオの確立」に向けた諸施策を加速させることで業績回復を達成し、再成長へと繋げていきます。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、以下のとおりです。

売上高	162,013百万円	(前年同四半期比 10.0%増)
営業利益	2,779百万円	(前年同四半期比 853.5%増)
経常利益	2,666百万円	(前年同四半期比 93.1%増)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,308百万円	(前年同四半期比 143.0%増)

セグメントの状況は、以下のとおりです。

① 紙・板紙

売上高	87,974百万円	(前年同四半期比 7.5%増)
セグメント利益	3,504百万円	(前年同四半期比 78.2%増)

紙・板紙事業においては、新聞用紙は、新聞発行部数及び頁数の減少により販売数量は前年同期より減少しましたが、価格改定の浸透によって販売金額は前年同期を上回りました。

洋紙事業（新聞用紙を除く）は、グラフィック用紙の更なる需要減少に伴いチラシやパンフレット用途の洋紙を中心に販売数量は前年同期より減少しましたが、あらゆる製品の価格改定の浸透によって販売金額は前年同期を上回りました。

板紙・段ボールは、食料品や日用品の値上げによって国内需要は伸び悩み、輸出についても中国を中心に需要が振るわず販売数量は前年同期を下回りましたが、価格改定の浸透によって販売金額は前年同期を上回りました。

これらの結果、紙・板紙事業では、売上高及びセグメント利益は前年同期を上回りました。

② ホーム&パーソナルケア

売上高	68,511百万円	(前年同四半期比 15.6%増)
セグメント損失(△)	△1,330百万円	(前年同四半期はセグメント損失△2,126百万円)

ホーム&パーソナルケア事業において国内事業では、衛生用紙は、前年の価格改定時のシェアダウンが完全に回復したことに加え、ソフトパッキティッシュや大容量トイレット等の高付加価値品の販売が伸長したことにより、販売数量、金額ともに前年同期を上回りました。紙加工品は、生活者の要望を反映した新商品やリニューアル品、著名人や大手アウトドアブランドとのコラボレーション商品、及び人気キャラクターを採用したデザイン企画品を連続して市場に投入し、好評を得ました。

国内事業全体としては、アフターコロナの行動回帰や少子化の進行により、マスクやベビー用紙おむつ等個別の商品カテゴリーにおける販売減があったものの、価格改定の浸透によって販売金額は前年同期を上回りました。

海外事業では、中国は、フェミニンケアの拡販は進みましたが、ゼロコロナ政策の余波によるベビーケアの販売減によって販売金額は前年同期を下回りました。東南アジアは、フェミニンケアの拡販は進みましたが、ベビーケアの価格改定による販売減によって販売金額は前年同期を下回りました。ブラジルは、各製品の価格改定が浸透しフェミニンケア、ベビーケア、紙製品等の高付加価値品の拡販によって販売金額は前年同期を上回りました。トルコは、各製品の価格改定が浸透しベビーケア、ウエット、リキッド等の拡販によ

って販売金額は前年同期を上回りました。

これらの結果、ホーム&パーソナルケア事業においては、価格改定の浸透によって国内事業、海外事業ともに売上高は前年同期を上回りました。セグメント利益は、海外事業の減販等の影響を受けセグメント損失となりましたが、国内事業の価格改定等により収益性が回復したことで、前年同期よりも赤字幅は縮小しました。

③ その他

売上高	5,527百万円	(前年同四半期比 10.5%減)
セグメント利益	586百万円	(前年同四半期比 33.5%増)

主に売電事業、機械事業、木材事業及び物流事業であり、売電事業の外部販売が減ったこと等により、売上高は前年同四半期を下回りました。

<主要品種別販売数量・金額増減要因>

紙・板紙セグメント

品種	数量	金額	動向
新聞用紙	-	+	新聞発行部数及び頁数の減少による数量減、価格改定の浸透
洋紙	-	+	印刷・情報用紙需要減による数量減、価格改定の浸透
板紙・段ボール	-	+	需要低迷による数量減、価格改定の浸透

ホーム&パーソナルケアセグメント

品種	数量	金額	動向
衛生用紙	+	+	ソフトパケットティッシュ、大容量トイレット等の高付加価値品の販売伸長及びシェアの回復
ベビーケア	-	-	少子化に伴う需要減少
大人用ケア	+	+	高付加価値パッドの販売伸長、価格改定の浸透
フェミニンケア	+	+	デザイン企画品、高付加価値品の販売伸長
ウェットワイプ	+	+	新商品・トイレクリーナー詰替大容量の販売伸長
マスク	-	-	アフターコロナの行動回帰に伴う需要減少及び販売価格の下落

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、投資その他の資産等の減少があったものの、棚卸資産や受取手形、売掛金及び契約資産等の増加により、前連結会計年度末に比べ1,540百万円増加し、925,072百万円となりました。

負債は長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ2,657百万円減少し、676,203百万円となりました。

純資産は為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ4,198百万円増加し、248,869百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.3ポイント上昇し、25.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	102,638	96,217
受取手形、売掛金及び契約資産	106,851	112,545
電子記録債権	10,753	11,720
棚卸資産	113,090	120,100
未収還付法人税等	4,614	4,725
その他	17,388	14,401
貸倒引当金	△279	△140
流動資産合計	355,058	359,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	104,544	104,742
機械装置及び運搬具（純額）	202,639	208,626
土地	87,099	87,241
その他（純額）	37,823	32,956
有形固定資産合計	432,106	433,567
無形固定資産		
のれん	45,847	45,640
その他	38,619	37,832
無形固定資産合計	84,466	83,472
投資その他の資産	51,800	48,369
固定資産合計	568,373	565,410
繰延資産	99	91
資産合計	923,531	925,072

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,167	86,660
コマーシャル・ペーパー	20,000	30,000
短期借入金	13,659	13,792
1年内償還予定の社債	56	56
1年内返済予定の長期借入金	78,812	74,605
未払法人税等	1,472	2,107
引当金	5,852	3,259
その他	44,776	46,933
流動負債合計	252,797	257,414
固定負債		
社債	45,136	45,136
長期借入金	324,000	318,552
退職給付に係る負債	23,986	24,128
引当金	1,061	663
その他	31,879	30,309
固定負債合計	426,063	418,789
負債合計	678,860	676,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,884	53,884
資本剰余金	55,112	55,112
利益剰余金	117,493	118,754
自己株式	△3,600	△3,498
株主資本合計	222,890	224,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,968	3,626
繰延ヘッジ損益	329	735
為替換算調整勘定	6,907	9,457
退職給付に係る調整累計額	1,026	957
その他の包括利益累計額合計	12,231	14,775
非支配株主持分	9,549	9,840
純資産合計	244,670	248,869
負債純資産合計	923,531	925,072

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	147,309	162,013
売上原価	115,193	129,024
売上総利益	32,116	32,989
販売費及び一般管理費	31,825	30,210
営業利益	291	2,779
営業外収益		
受取利息	146	212
受取配当金	731	196
持分法による投資利益	55	19
為替差益	1,706	1,062
正味貨幣持高に関する利得	—	232
その他	500	955
営業外収益合計	3,139	2,679
営業外費用		
支払利息	1,215	1,531
デリバティブ評価損	498	688
その他	335	571
営業外費用合計	2,049	2,792
経常利益	1,381	2,666
特別利益		
固定資産売却益	39	42
投資有価証券売却益	1,321	1,545
受取保険金	50	854
その他	164	85
特別利益合計	1,576	2,527
特別損失		
固定資産除売却損	219	105
災害による損失	162	84
固定資産圧縮損	153	72
その他	7	6
特別損失合計	543	268
税金等調整前四半期純利益	2,414	4,925
法人税、住民税及び事業税	836	1,488
法人税等調整額	601	52
法人税等合計	1,438	1,541
四半期純利益	976	3,383
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△384	75
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,361	3,308

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	976	3,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△810	△340
繰延ヘッジ損益	132	372
為替換算調整勘定	11,225	2,798
退職給付に係る調整額	△58	△67
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	△1
その他の包括利益合計	10,480	2,760
四半期包括利益	11,456	6,144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,240	5,852
非支配株主に係る四半期包括利益	1,216	291

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

①第1四半期連結会計期間

2023年4月1日付で、ダイオーエクスプレス株式会社は、ダイオーロジスティクス株式会社に吸収合併され消滅しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	紙・板紙	ホーム& パーソナ ルケア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	81,843	59,287	141,131	6,178	147,309	—	147,309
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,213	591	4,805	19,238	24,043	△24,043	—
計	86,057	59,879	145,937	25,416	171,353	△24,043	147,309
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,966	△2,126	△160	439	279	12	291

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、造林事業、機械事業、物流事業、売電事業、ゴルフ場事業及び不動産賃貸事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去に係る調整額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	紙・板紙	ホーム& パーソナ ルケア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	87,974	68,511	156,486	5,527	162,013	—	162,013
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,185	335	4,520	20,890	25,410	△25,410	—
計	92,159	68,846	161,006	26,417	187,424	△25,410	162,013
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,504	△1,330	2,174	586	2,761	17	2,779

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、造林事業、機械事業、物流事業、売電事業、ゴルフ場事業及び不動産賃貸事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去に係る調整額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

4. 当第1四半期連結累計期間より一部管理方法の変更を行っています。